

研究所若手アンサンブル研究会に参加し研究成果を発表しました(2016/1/21-22)

テーマ：研究所若手アンサンブルプロジェクト
場所：宮城県蔵王町，JAXA 角田宇宙センター
URL：http://www.fris.tohoku.ac.jp/institutes_ensemble/

2016年1月21-22日に、研究所連携アンサンブル研究会が宮城県蔵王町で開催されました。本研究会は東北大学附置研究所間の若手研究者を中心とした交流に重点を置き、「仲間の輪を拡げれば、もっと研究が楽しくなるかも!？」というモチベーションのもと、分野横断・学際的な共同研究に発展させることを目的としています。

本研究会に、呉修一助教、パーノン・ラシャロット研究員（以上、災害リスク研究部門）、森口周二准教授（地域・都市再生研究部門）、浩日勒助教、笠原好之助教、稲葉洋平助手（以上、災害医学研究部門）、ボレー・セバスチャン助教（情報管理・社会連携部門）が参加し、以下に示す7件の発表を行いました。また、JAXA 角田宇宙センターを訪問し世界最大クラスの実験施設等を見学するとともに今後の連携研究に向けた意見交換を行いました。今後も災害科学国際研究所では文理融合の学際研究を深化させるため、本連携プロジェクトに積極的に参加していきます。

【発表題目一覧】（下線は、災害研所属教職員）

■アンサンブルグラント採択課題発表

石原真吾，森口周二：崩壊までを含めたシミュレーションによる地盤陥没災害の予測
稲葉洋平：SLE 患者に対する非侵襲的 MR 脳機能画像法を用いた新たな診断法の開発
藤岡悠一朗，ボレー・セバスチャン：東日本大震災後のコミュニティ再生・創生プロセスと持続可能性に関する実証的共同研究

■自己紹介研究発表

笠原好之：胎児期ストレスが引き起こす精神疾患の機序の解明
浩日勒：災害関連発熱疾患の早期発見のためのバイオ・マーカー研究について
パーノン・ラシャロット：地震・津波関連プロジェクトの紹介
呉修一：皆さん、緊急災害調査に一緒に行きませんか？



稲葉助手の発表の様子



研究会の様子